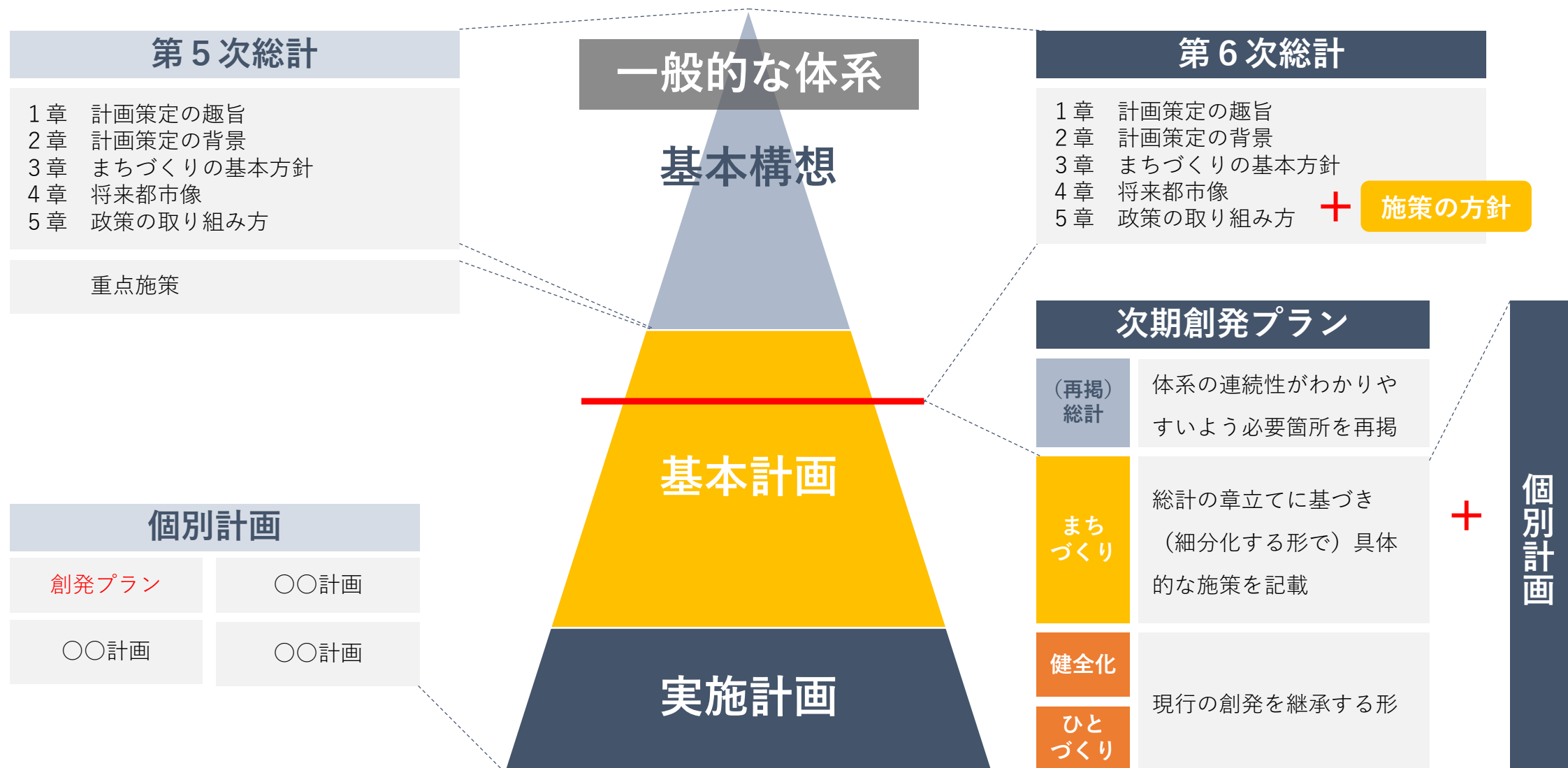
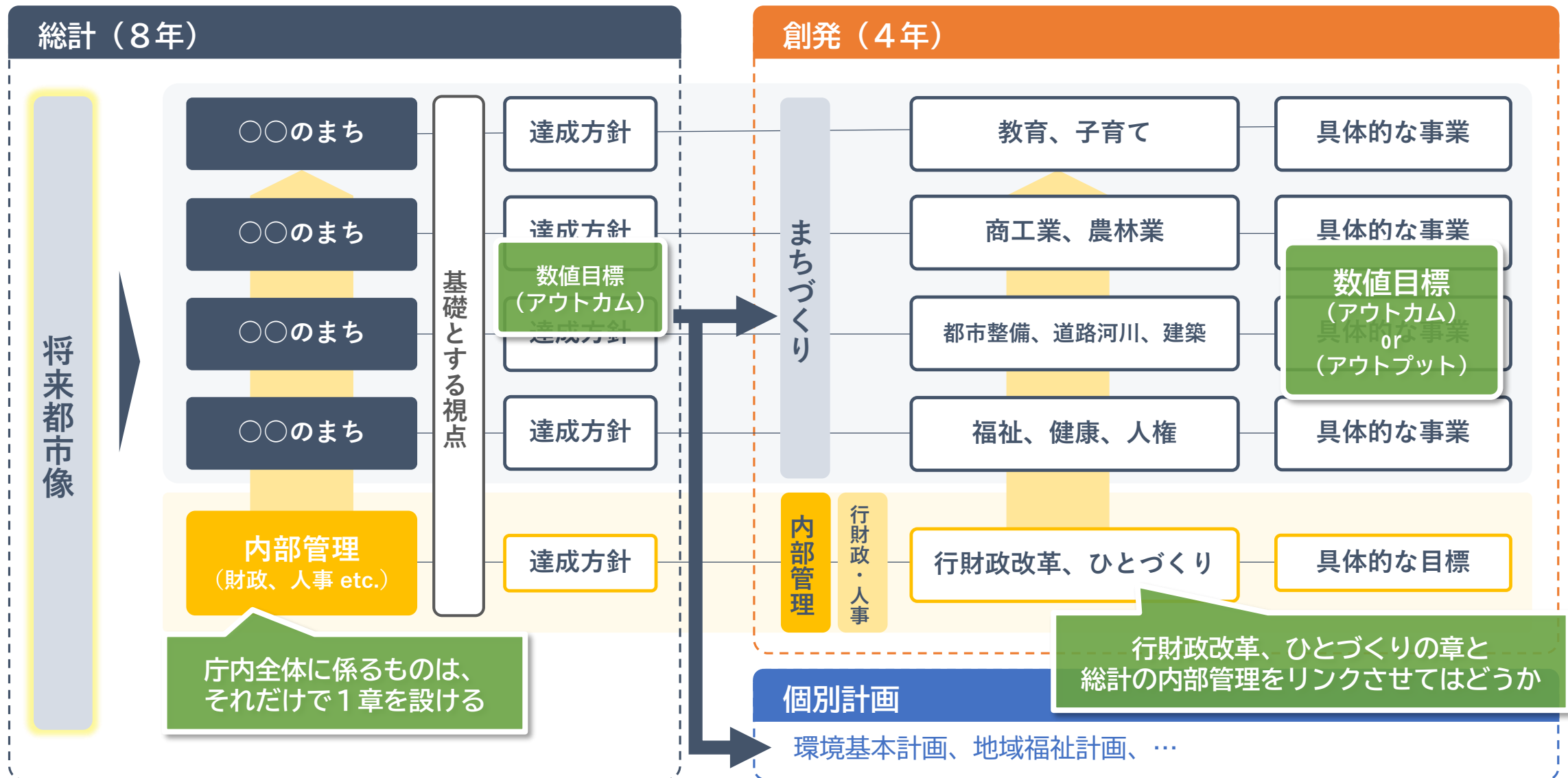


(次期) 6次総計の構成の検討

資料 3

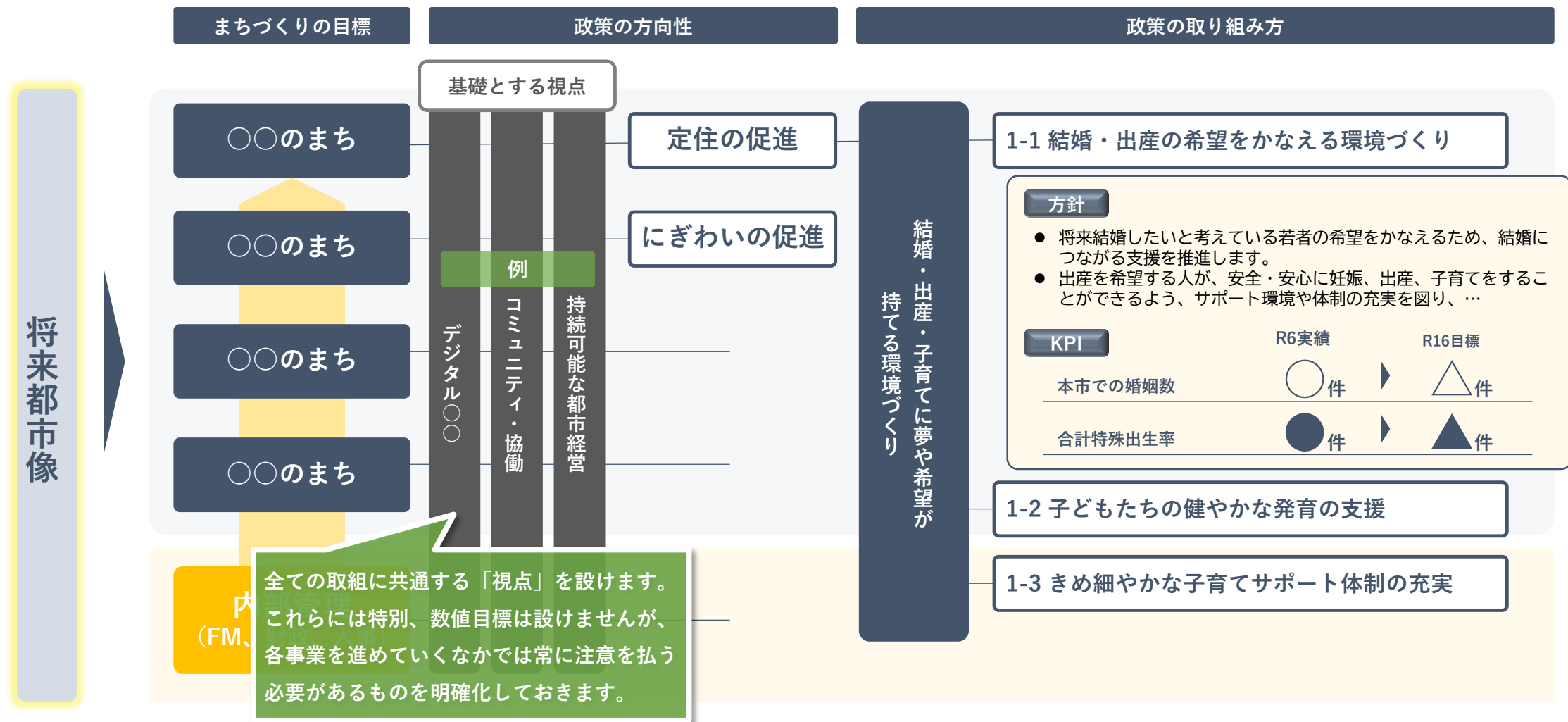


体系図（案）



以上を総合した体系図（案）-総計部分の抜き出し-

特に、総計部分だけを抜き出すと、このような構成を想定しています。



総計の目次（案）

第5次総計

第1章 計画策定の趣旨

- 第1節 策定の目的
- 第2節 計画の役割
- 第3節 計画の期間と構成

第2章 計画策定の背景

- 第1節 とりまく時代潮流
- 第2節 市民の意識（アンケート結果）
- 第3節 市の産業構造と就業構造
- 第4節 市が持つ優位性
- 第5節 市の人口推計

第3章 まちづくりの基本方針

- 第1節 基本的な考え方
- 第2節 まちづくりの視点
- 第3節 土地利用構想

第4章 将来都市像

- 第1節 「将来都市像」と「まちづくりの目標」
- 第2節 めざす「都市イメージ」

第5章 政策の取り組み方

1～3章は踏襲

第6次総計

第1章 計画策定の趣旨

第1節 …

第2章 計画策定の背景

第1節 …

第3章 まちづくりの基本方針

第1節 …

第4章 将来都市像

第1節 「将来都市像」と「まちづくりの目標」

将来都市像と章立てをここで提示

第2節 めざす「都市イメージ」

「まちづくりの目標」（章立て）で立てた目標について、章ごとに説明を加える

第3節 和泉市での暮らし

めざす「都市イメージ」を実現した結果、和泉市での暮らしはどうなるのか、をポンチ絵で表現

- ・ ありたい姿をイラストで表現
- ・ ライフ別ステージ

第5章 政策の取り組み方

和泉市での暮らしを見やすくビジュアル化

(一例：上越市)



1 上越市第7次総合計画 ダイジェスト版

(一例：山口県周南市)



7 周南市まちづくり総合計画

9 周南市まちづくり総合計画

周南市まちづくり総合計画 8

周南市まちづくり総合計画 10

(現)総合計画と創発プランの特徴

総計と創発の特徴のうち、目立ったものをまとめました。

	第5次総計	創発プラン
性格	総花的 特定の分野でなく、行政分野全体にわたり事業が掲載されている本市の最上位計画。	行財政改革 各事業に必要な事業費を示すなど、持続可能な行財政運営の確立を目指した第5次総計の実行計画。
掲載事業	重点的 それぞれの行政分野において、重点的な事業が掲載されている。	事業費の大きなもの 中長期の財政支出見通しに大きく影響するものや市長公約などを記載。
進行管理 (評価方法)	年に1回（行政評価） 本市が取り組んだ重点施策の事業についてK P Iを設定し、その効果について評価を行っている。	年に2回（予算・決算） 予算額・決算額を含めた事業の実施状況や10年間の収支見通しを公表している。

次期創発プランの変更点(1)

第5次総計と創発の両方に共通する事業をピックアップしました。

第1章 定住の促進

第1節 「結婚・出産・子育て」に夢や希望が持てる環境づくり

01 結婚・出産の希望をかなえる環境づくり

- ・ 移住定住支援事業（バスツアー）
- ・ 結婚新生活支援事業（定住補助金）
- ・ 妊婦検診公費負担事業

02 子どもたちの健やかな発育の支援

- ・ 主要予防接種受診率向上事業
- ・ 乳幼児健康診査事業
- ・ こども医療費助成事業 など

03 きめ細やかな子育てサポート体制の充実

- ・ ふたば幼児教室運営事業
- ・ 子育てなんでも相談事業（虐待支援）

04 地域で安心して子育てができる仕組みづくり

- ・ 地域子育て支援拠点施設事業
- ・ 我が町の子どもを育てよう事業
- ・ 小中一貫教育推進事業
- ・ 放課後子ども教室推進事業

05 子育てと仕事の両立支援体制の充実

- ・ 民間保育所等整備補助事業
- ・ 留守家庭児童会運営事業
- ・ 医療的ケア機能を備えた民間保育施設の誘致

総計と創発を関連させていくにあたり、創発に記載される事業の分量は多少増加する

(次期) 創発における評価方法 (案)

KPIに関連する事業について単年度評価を行います。
一部の事業には、事業の見直し等の対象となる見直しラインを設けることを検討。

創発

結婚・出産の希望を叶える環境づくり

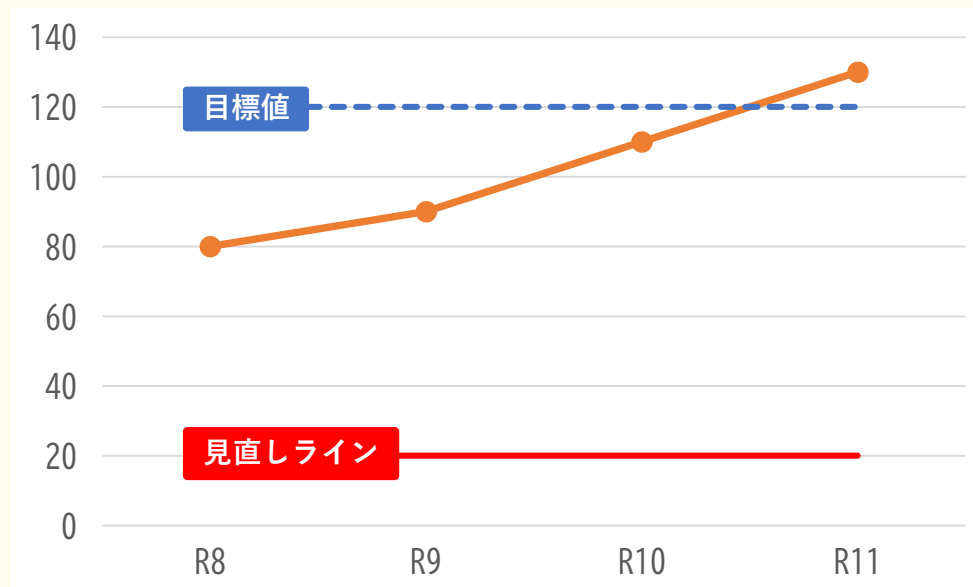
KPIの設定

1	観光カップリングツアーの年間参加者数	120人
2	転入を促進するための取組数	6件
3	妊婦健康診査の利用率	92.0%

毎年度、達成度を測り、
4年後の目標に向かって事業を進めていく

ただし、効果の薄い事業は、事業の見直し
や縮小、撤退の検討が必要になるため、事
業開始とともに「**見直しライン**」を設定し
ておく

K
P
I
の
達
成
度



年次の経過